

第13回江南市市民協働・市民活動推進協議会 会議要旨

日時：平成26年3月6日（木） 午後2時30分～4時

場所：地域情報センター2階 中会議室

1. 「江南市地域まちづくり補助事業」について

【地域まちづくりフォーラム】

○事務局より、当日の進行等について確認がされました。

- ・3月15日（土）の12時から講師の方と昼食を食べながら、交流できる時間を1時間設けているので、ご都合の良い人は参加してほしい。
- ・審査員講評は、当日の報告発表が終わった後、市民協働・市民活動推進協議会会長にお願いします。
- ・第2部の司会・進行は、事業委託をしている「ボランティアネイバーズ」の担当者が行う。
- ・会場は、机をなくして椅子のみを並べていく。

2. 「江南市制60周年記念市民公募事業」について

○事務局より審査の依頼と審査ポイントの説明がありました。

- ・今回は、江南市制60周年のお祝いを目的としているため、江南市制60周年に関する内容であれば、この事業に参加できる。
- ・審査項目や審査のポイントをまとめ、予算書においては記載例を作成した。何かご意見があれば教えていただきたい。
- ・積算根拠が曖昧にならないよう、予算書をできるだけ細かく書いてもらえる様式にした。
- ・2次審査は誰がやるのか。
⇒申請書、一次審査結果などを総合的に見て市で判断していく。
- ・点数のみで判断するのではなく、多くの方々の意見や会場の様子等を考慮し、総合的に判断してほしい。
⇒そのような情報も合わせて江南市制60周年記念市民公募事業担当課へ伝える。

- ・委員も事業申請をしても良いのか。
⇒可能だが、誤解が生じないように審査員からは外れていただくことになる。

*江南市制60周年記念市民公募事業は、中間支援を行っているボランティア団体、「江南の市民活動を支援する会」へ依頼してあるため、進行を交代しました。

(以下、「江南の市民活動を支援する会」の代表でもある、齋藤委員が進行をされました。)

- ・江南市制60周年記念市民公募事業の公開審査会を行う会場は、アピタ江南西店の中央にあるフリースペースを予定している。
- ・公開審査会の開会の合図として、今年度、江南市地域まちづくり補助事業で採択された「織音」に演奏をしてもらう予定である。
- ・より多くの市民に関わっていただける審査ができるようにしたかった為、いつでも自由に見学し、参加していただくことができるように、お客さんが多く来られる場所をと考えた。
- ・アピタ江南西店に来られたお客さんにも参加していただけるように、各申請団体の名称が書かれた模造紙を準備し、それぞれ応援したい団体のところへシールを貼っていただく。市民の声として、総合的な審査の資料として市に伝えたい。

- ・準備の関係やアピタ江南西店の都合にもよるが、できれば公開審査会は午後の方が、お客さんが多く来てもらえる可能性が高いので、良いのではないかと。
⇒準備の関係と審査員の都合で決めていきたい。
- ・準備は、アピタ江南西店の開店前に行ってほしいとのことだったので、準備を午前中に行い、午後から公開審査会を行うとのことでも良いと思う。
- ・一般の方に模造紙へ貼ってもらったシールも、点数化できないか。
⇒団体によって、つながりの広さに違いがあるため、そこで差がないようにとの考えから、今回は加点を考慮していない。しかし、審査の参考としては使用したいと思う。
- ・組織票は免れられないと思うが、他市町村で行った時は、1人につきシールを2枚お渡しし、1枚は自分の団体へ、もう1枚は他の団体へ貼付してもらるように依頼した。そうしたところ、個人的に良かったところへ貼付してもらえたため、良かった。

3.その他

(1) 絆づくり実行委員会より

- ・ 3月2日「ふくしま祭り」の中で開催した「ひだまりカフェ」は、今年とても多くの方が来場してくれた。スタンプラリーを、どこかのブースで体験したらスタンプを1つ押すというやり方が良く、楽しく遊んでくれる子ども達が多かった。
- ・ 子どもたちの中では、「楽しかったからまた行きたい。」とあって、再度来てくれた人もいた。
- ・ 市民協働・市民活動推進協議会の支援を引き続きお願いしながら、一緒に活動を継続したい。(事務局)

(2) 視察・研修

- ・ 委員やできれば一般市民の方にもご参加いただき、市民活動センターの運営をしている団体のところへ勉強会をしに行ければと考えているので、今後検討していきたい。(齋藤委員より)